

会 議 要 旨

(1 / 4)

会議の名称	令和5年度第2回川越市立美術館協議会
開催日時	令和6年2月20日(火) 午後3時開会・午後4時閉会
開催場所	川越市立美術館アートホール
会長氏名	(会 長) 宮澤光造
出席委員氏名 (人数)	(副会長) 山田誠次 (委 員) 青柳達雄、吉岡知子、山崎共子、田中 晃、 武 成志、西川雄一郎 (8人)
欠席委員氏名 (人数)	西野 博 (1人)
事務局職員 職・氏名	館 長 山田明子 副館長 折井貴恵 副主幹 相田祐次
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和6年度事業計画 (2) 事務局からの報告 (3) 各委員から (4) その他 4 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 川越市立美術館協議会委員名簿 ・ 資料 ・ 令和6年度展示案内(色校正原稿)

議 事 の 経 過

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 令和6年度事業計画について

1 展示事業について

資料に基づいて事務局説明。

- 意見 特別展の観覧者数について。令和6年度目標観覧者数は決めているのか。また、令和5年度の実績は。
- 説明 令和5年度の実績は、「杉浦非水展」が5465人、「中村一美展」が4086人であった。
令和6年度の目標観覧者数は、「みて!! さわって!? かわごえのびじゅつ」が5400人、「江戸のお洒落装身具」が6300人である。
- 意見 令和6年度の特別展は、それぞれ子どもやインバウンドを意識しており集客が図れると思う。
- 意見 完売したという令和5年度の「杉浦非水展」図録は重版できないのか。
- 説明 重版については予算が無く、現在は予定していないが、展示された作品・資料が当館に寄託予定となっていることもあり、今後展示の機会がありそうなことから課題としている。
- 意見 令和6年度タッチアートコーナー2期の作品は実際に動かせるものか。
- 説明 作家は、触れる、動かすは問題ないと言うが、壊れることが心配されるようなものには触れない工夫が必要である。
- 意見 展覧会を契機に作家や関係者から寄贈、寄託などは素晴らしく、地域の美術館として重要だと思う。図録の購入は通常、観覧者の5%くらいだが「杉浦非水展」図録は、15%くらいであることに驚かされる。

2 教育普及について

資料に基づいて事務局説明。

- 意見 埼玉アートカードとはどのようなものか。
- 説明 埼玉県立近代美術館、うらわ美術館、当館の所蔵作品を40枚1セットにして遊びながら鑑賞の仕方を養う内容になっている。
- 意見 事業計画に高校生が対象の企画はないのか。
- 説明 県立川越高校、県立川越女子高校、県立川越工業高校、市立川越高校の4美術部展があるが、高校生全体としての展示発表は無く課題である。
- 意見 令和6年度秋の特別展が前年度に比べて約1.5倍の観覧者数を見込んでいるが、どのようなことか。
- 説明 過去の類似展覧会実績を基に算出しており、和装の方、衣装レンタル店を介したアピールの効果を考えている。
- 意見 特別展と小学校6年生バス見学の興味付けをどのように考えているか。

議 事 の 経 過

- 説明 バス見学は美術館滞在 30 分、相原求一郎記念室と常設展示室を 15 分ずつ回る。夏の特別展は夏休み中であり、子どもを意識している内容ではあるが、バス見学とは重ならない時期となる。
- 意見 せっかく良い展覧会をやるので、バス見学の際に関心を持つしくみを作り、子どもたちを特別展に誘導できると思う。ぜひ考えてほしい。
- 意見 企画展示が年 4 本から年 2 本になり、観覧者数にも関係すると思うが今後、企画展が増える可能性はあるか。
- 説明 川越市行財政改革アクションプランにより令和 7 年度までは年 2 本としている。その後にある美術館の改修とタイミングを図って特別展 3 本の実施を検討したい。
- 意見 美術館では中学生の職業体験は受け入れているか。そうであれば負担の大きな事業でもあり、資料に記入した方がいいと思う。
- 説明 実施している。美術館主催事業ではないが協力事業として掲載し、あわせて学芸員実習も載せることにする。
- (2) 事務局からの報告
資料に基づいて事務局説明。
博物館登録について追加説明。
- 説明 美術館は、博物館法における登録博物館になるため、1 年かけて審査を受けている。これまでは公立館は教育委員会所管であること、との縛りがあったが、博物館法が改正されてその要件がなくなり、当館も登録が可能になった。
- 意見 登録博物館のメリットは何か。
- 説明 社会的に認知される、特に作品借用時に一定条件を備えている登録博物館として信用されることである。
- 意見 改修に当たり、雨天時も美術館と創作棟の行き来がしやすくなるようにお願いします。また、創作棟利用者が駐車場を利用する場合、長時間になると思われるが一般利用との兼ね合いを考えているか。
- 説明 市民ギャラリー使用者も含め、作品や道具を運ぶ方には申し訳ないが、駐車場については実際のところ対策がない。
- 意見 アンケートにメールアドレスを記入してもらい、美術館案内を送信するのはいかがか。
- 説明 川越市は個々のメール送信の代わりに、登録すれば一斉配信で情報が届くサービスを行っており、当館でも毎月 25 日にメール配信をしている。
- 意見 改修、特別展、どちらも予算が問題であるが美術館を支持する人が増えない限り予算は獲得できないだろうから来館者の増加が重要である。
- 意見 教育普及活動は学校教諭が担当しなくなったが人員要望しないのか。
- 説明 3 年前に指導主事が異動した際に後任が無く、職員数 1 人減となっている。指導主事の配置は、交代で一般職員 1 人減となり、今度は事務がひっ迫するため、定員増がなければ指導主事を要望できない状況である。

議 事 の 経 過

- 意見 明後日から川越市立小中学校児童生徒県特選作品展を開催する。短期間だが川越市内の子どもたちの作品を一堂に会して見られる機会は、ここだけであるから、いろいろな形でアピールしてほしい。

(3) 各委員から

- 意見 学生するとき美術関係のアルバイトをしていたが社会人になってから美術という言葉聞いたことがなかった。美術に関わる話を聞き、予算などが大変なことを実感した。
- 意見 中小企業支援、創業支援の仕事をしていて先立つものがないとできないことも承知している。美術は趣味だが美術館に行くとなんとなく、盛り上がりを感じ、若者・インバウンドの観光客が増えている状況は流れがあると思う。
- 意見 美術協会展、川越市美術展覧会は参加者、展示協力者が高齢化しており、若い人を取り込む対策ができればと思う。
- 意見 美術館は収益事業としては難しいと思うが、だからといって予算をカットしてはいけない事業である。展示室で直に作品を鑑賞することは図録の写真では絶対に分からない迫力がある。それをきちっとやっているのは意義のある美術館だと思う。
- 意見 障害者関係でも医療の予算は非常に厳しく、アクションプランも承知している。状況は厳しいと思うが、美術館は非常にありがたい施設である。個人としては来館しているが、まだ来たことのない人にも来てもらえるように自分の周囲にも働きかけたい。
- 意見 厳しい人数と予算の中、川越ゆかりの作家を収蔵・紹介している活動が分かり、どうしたらいいか考えることが勉強になった。埼玉県立近代美術館で開催を予定している吉田克朗展の会期末がタッチアート3期の吉田有紀展（吉田克朗の子）と重なり、父子の作家という連携で相乗効果を期待したい。
- 意見 美術館で教育普及を担当し、学校の現場と違う美術館の取り組みが勉強になった。今後も何かしら美術館に関わりたい。
- 意見 商工会議所と山崎美術館に関わっていて、市立美術館と問題は同じでもあり、羨ましいところもある。観光客が多くても入館者は美術に関心のある方になる。一番街はオーバーツーリズム状態だが、美術を見たついでに一番街も寄るくらい川越が成熟した街になり、美術を愛する人が増えることを願う。

○説明 頂いた提言を今後の美術館の運営に役立てて行く。

(4)その他
特になし。

4 閉会